

語いもそ会（薩摩川内市）

発表者：柳 田 克 己 氏

皆さん、こんにちは。

ただいまご紹介いただきました、語いもそ会の柳田でございます。

本日はこのような会場で、身に余る表彰や事例発表の機会をいただきましたことは、私も語いもそ会にとりまして、この上もない喜びであり、光栄に存じます。会場にお見えの会員の皆さん方も、恐らく同じお気持ちではなかろうかと思っております。

それではまず、会の所在地と地域の状況から簡単に申し上げますと、J R 川内駅から東へおよそ500～600メートル行ったところに中ノ原自治会という地域がございます。これが語いもそ会のある自治会です。自治会内には、中学校や保育園を始め、自動車学校が2カ所、病院、ストア等もあり、しかも中央を幹線道路も通っている関係で、車や人通りの多い地域となっています。ちなみに、本年4月1日現在で自治会は世帯数493所帯、人口で1,290名、うち小・中学生が125名、65歳以上の高齢者が297名であります。

では、ここで、語いもそ会の目的と成り立ちを簡単に触れてみますと、近年、高齢化の波が急速に進行しつつある中で、寝たきりや孤独感のない地域社会を目指し、お互いが助け合い、支え合い、語り合って、ともに元気で楽しく生きがいの持てる世の中にするためには「行政や地域の若者だけに頼るのではなく、我々高齢者ができることは高齢者で。」を合い言葉に毎月集まって、みんなのためにみんなで語いもそや。そして、できることはしもそや。そうすることが地域の改善につながり、役立つことになればという思いで、平成16年8月に、クラブ名を鹿児島弁で「語いもそ会」と名づけて発足したものであります。会員は、男性21名、女性21名の計42名、平均年齢72.7歳、加入率は14.1%で、自治会の高齢化率は23%といった現状であります。

さて、次に会の活動について申し上げたいと思います。

まず初めに、会の特筆すべきものとして、発足以来、今日まで9年間、毎月欠かさず例会を開催しているという点であります。毎月の例会は、年間の活動計画に従って、今、スライドも出ておりますけれども、このような計画を毎年立てまして実施をしておりますが、中には講師の都合等で、期日を変更せざるを得ない場合もございます。しかし、ほとんどは当初

の計画どおり実施していますし、年度末には年間の活動実績をまとめ、次年度の参考にしながら、新たな要望・意見等も踏まえた中で、新年度計画を策定するといった作業を毎年繰り返し行っているというのが実情です。

しかしながら、このことは他に自慢できるようなものではありませんが、これまで会員の理解と協力、そして自治会の支援によってここまで来られたということは、いろいろな意味で少しは誇れる点かなと思うことです。また、例会以外にも、市高連や支部、あるいは地区等の諸会議や行事、大会等もありますが、これらにも積極的に参加いたしているところです。

それでは、主な活動内容として6項目を挙げてありますが、順を追って申し上げます。



まず、1番目の季節に応じた健康管理と予防対策の学習活動ですが、高齢者にとって日常生活の上で疎かにできないのが健康の問題です。そういう意味では、日ごろの健康管理と予防の心得を学習しておくことが最も大事です。しかしながら、一般的に、年寄りには目も乏しくなり、耳も遠くなり、お

まけに記憶力も薄れてきますので、毎年、季節に応じて繰り返し学習しているところであります。

2番目の交通事故、押し売り、振り込め詐欺及び防犯・防災等の意識向上と体験学習活動についても、1番目と同様、繰り返し学習することによってその効果が期待できると信じて取り組んでいます。そこで、2番目の1つとして、交通事故防止や押し売り、振り込め詐欺などの防犯対策につきましては、警察にお願いし、ビデオ等も交えながら適切な指導を受け、個々の意識も高まりつつあるのではと思うことです。

また、子どもたちの登校時には通学路の見守り、声かけ、横断歩道での誘導等を行うほか、高齢者の事故が多発している現状を踏まえ、ナイトスクールや交通安全ゼロゼロコンテストにも応募し、交通ルールやマナー、反射材着用等の学習も行ってきたところです。なおまた、押し売り、振り込め詐欺等についても、チラシやステッカー等を配布し、会員

